

令和4年度
事業報告

一般社団法人 日本工業用水協会

目次

1. 会 務	1
(1) 会員の現況	1
(2) 総会	1
(3) 理事会	3
(4) 監事会	6
(5) 協会運営委員会	6
(6) 役員（専務理事）候補者の公募.....	9
2. 工業用水道事業の推進.....	10
(1) 施策要望等	10
3. 事 業	13
(1) 調査研究業務	13
(2) 出版に関する事業	16
(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業	18
(4) 工業用水道保険事業	19

1. 会 務

(1) 会員の現況

令和5年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	令和4年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	128		
事業者	115	2	3
利用者	13		1
特別会員	36		3
関連産業会員	37	1	1
名誉会員	4		
計	205	3	8

顧問：3名（内名誉会員が3名）（議決権対象は201会員）

(2) 総会

(2) . 1 臨時総会

日 時 令和4年4月26日（火）

場 所 日本工業用水協会会議室

会員数 201会員（議決権対象会員）（令和4年4月1日現在）

出席会員 1社員

代理出席会員 0社員

委任状提出会員 0社員

議決権行使会員 183社員

計 184社員

議 題

議案 理事6名、監事2名選任の件（案）

概 要

総会運営要領に基づいて日本工業用水協会本郷総務部長（特別会員）が議長に選出された。会員数及び出席会員数は上記のとおりであり、会員数の過半数以上の出席があり、定款第18条第1項の規定により、本臨時総会が成立している旨の報告を行い、引き続き定款第18条第3項に基づき、次の役員候補者ごとに決議を行い、異議なく承認可決され、候補者全員が原案のとおり次の理事、監事の方々が選任された。

理事 中川喜仁殿、山口新二殿、久家良和殿、
成田徹一殿、中川雅人殿、海野隆輝殿、
監事 草野秀夫殿、衛藤博至殿

(2) . 2 第10回定時総会

日時 令和4年6月6日(月)

場所 日本工業用水協会会議室(オンライン併用)

会員数 200会員(令和4年6月6日現在)

出席会員数	出席会員	7社員(オンライン)	6)
	代理出席会員	17社員(オンライン)	17)
	委任状提出会員	28社員	
	議決権行使会員	117社員	
	計	169社員	

議題

I 議案

第1号議案 令和3年度事業報告(案)

第2号議案 令和3年度決算報告書(案)及び監査報告書

II 報告事項

(1) 令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算書

(2) 令和5年度工業用水道事業施策に関する要望及び要望の取りまとめ方
について

概要

会長の正司山口県公営企業管理者の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域経済産業政策統括調整官(師田調整官、塩手課長代読)ほか、総務省自治財政局長(前田局長、橋本室長代読)、国土交通省水管理・国土保全局水資源部長(三橋部長、石川課長代読)のご祝辞を頂いた。この他に、ご来賓としてご出席いただいた経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課塩手課長、同小林工業用水道計画官、総務省自治財政局橋本公営企業室長、国土交通省水管理・国土保全局水資源部石川水資源政策課長、関東経済産業局地域経済部地域振興課企業立地支援室長澤課長補佐のご紹介を行い、引き続き会長表彰として功労賞18名、勤続賞53名を表彰者名簿により紹介した。

正司会長が議長となって、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、総会成立が報告された。引き続き議事録署名人について、議長一任の発言に基づき、議長のほか一般財団法人造水促進センター平井顧問、大成機工株式会社鈴木特別顧問を議長から指名した。

各議案について、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、事務局から説明を行い各議案の承認を求めた。審議が行われ議案ごと決議され、すべて原案どおり承認可決された。

(2) . 3 臨時総会(第2回)

日時 令和4年9月16日(金)

場所 日本工業用水協会会議室(オンライン併用)

会員数 201会員(議決権対象会員)(令和4年9月16日現在)

出席会員 5社員(オンライン) 4)

代理出席会員 8社員(オンライン) 8)

委任状提出会員	43社員
議決権行使会員	106社員
計	162社員

議 題

議案 会費規程改訂（案）

概 要

会長の正司山口県公営企業管理者の挨拶に引き続き、正司会長が議長となって、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、総会成立が報告された。引き続き議事録署名人について、議長一任の発言に基づき、議長のほか、徳島県企業局中川副局長、一般財団法人造水促進センター平井特別技術アドバイザーを議長から指名した。

議事進行について議長から協会運営委員会の委員長梶の山口県から報告を求めた後、議案について審議を行う旨をはかり、議長一任の決議に基づき、議長から協会運営委員会委員長梶の山口県にこれまでの経緯等の説明を求め、引き続き議案について、事務局が説明を行い、議案の承認を求めた。審議が行われ原案どおり承認可決された。

(3) 理事会

(3) . 1 第52回理事会（書面審議）

日 時 令和4年4月4日（月）

議 題 令和4年度臨時総会の招集に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し正司会長名で、臨時総会招集承認に係る書面決議を提案し、4月4日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

(3) . 2 第53回理事会（書面審議）

日 時 令和4年5月9日（月）

議 題 代表理事（副会長2名）の選定及び会員入会に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し正司会長名で、代表理事（副会長2名）の選定及び会員入会に係る提案し、5月9日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

次の代表理事（副会長2名）が選定され、会員入会が承認された。

中 川 喜 仁殿 を代表理事に選定し、副会長（順位1位）とする。

山 口 新 二殿 を代表理事に選定し、副会長（順位2位）とする。

(3) . 3 第54回理事会

日 時 令和4年5月17日（火）

場 所 日本工業用水協会会議室（オンライン会議）

出席者 会長（代表理事）山口県正司公営企業管理者 ほか11名

うち理事 10名（令和4年5月9日現在 12名）

監事 1名（令和4年5月9日現在 3名）

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 小林工業用水道計画官

- 議 題 第1号議案 令和3年度事業報告（案）
 第2号議案 令和3年度決算報告書（案）及び監査報告書
 第3号議案 会長表彰受賞候補者の選考（案）
 第4号議案 令和5年度工業用水道事業施策に関する要望書（案）及び
 実施（案）
 第5号議案 令和4年度第10回定時総会招集及び議題並びに議案概
 要（案）

報告事項

- (1) 令和3、4年度のこれまでの事業経過報告
 (2) 施策要望の取りまとめ方について
 (3) 事務局体制について

概 要

本人確認も含め、出席者の紹介を行った。

会長の正司山口県公営企業管理者の挨拶に引き続き、ご来賓としてご出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官のご挨拶をいただいた。

正司会長が議長となって、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、理事会成立が報告された。

各議案について、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、事務局から説明を行い各議案の承認を求めた。審議が行われ議案ごと決議され、すべて原案どおりに了承された。また、議長からそれぞれの報告事項について、協会運営委員会委員長県の山口県、事務局にそれぞれ説明を求め、施策要望の取りまとめ方等の報告内容が了承された。さらに、事務局から新技術に関する紹介を取りまとめ、ホームページ上で公表する業務の実施について説明を行い、了承された。

(3) . 4 第55回理事会

日 時 令和4年8月26日（金）

場 所 日本工業用水協会会議室（オンライン会議）

出席者 会長（代表理事）山口県正司公営企業管理者 ほか12名

うち理事 10名（令和4年8月26日現在 12名）

監事 2名（令和4年8月26日現在 3名）

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 小林工業用水道計画官

議 題 第1号議案 工業用水道事業者会員の入会について

報告事項

- (1) 事務局体制の強化に向けた協会運営委員会からの中間報告について
 (2) その他

概 要

本人確認も含め、出席者の紹介を行った。

会長の正司山口県公営企業管理者の挨拶に引き続き、ご来賓としてご出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官のご挨拶をいただいた。

正司会長が議長となって、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、理事会成立が報告された。

議案について、議長から事務局に説明を求め、事務局から説明を行い議案の承認を求めた。審議が行われ決議され、原案どおりに了承された。また、議長からそれぞれの報告事項について、協会運営委員会委員長県の山口県、事務局にそれぞれ説明を求め、報告内容が了承され、更に会費規程に関しては、臨時総会前に

事前通知を行うことが了承された。

(3) . 5 第56回理事会（書面審議）

日 時 令和4年8月31日（水）

議 題 令和4年度臨時総会（第2回）の招集に係るご提案

定款第36条に基づき、役員に対し正司会長名で、理事会の決議の目的である事項について、上記の内容の提案書を発し、8月31日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

(3) . 6 第57回理事会（書面審議）

日 時 令和4年10月24日（月）

議 題 役員（専務理事）候補者の公募に係るご提案

定款第36条に基づき、役員に対し正司会長名で、理事会の決議の目的である事項について、上記の内容の提案書を発し、10月24日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

(3) . 7 第58回理事会（書面審議）

日 時 令和4年11月17日（木）

議 題 令和4年度補正予算における総合経済対策（電力支援策）に関する緊急要望書提出のご提案

定款第36条に基づき、役員に対し正司会長名で、理事会の決議の目的である事項について、上記の内容の提案書を発し、11月17日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立した。

(3) . 8 第59回理事会

日 時 令和5年1月31日（火）

場 所 日本工業用水協会会議室（オンライン会議）

出席者 会長（代表理事）山口県正司公営企業管理者 ほか12名

うち理事 10名（令和5年1月20日現在 12名）

監事 2名（令和5年1月20日現在 3名）

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 小林工業用水道計画官

議 題 第1号議案 令和5年度事業計画（案）について

第2号議案 令和5年度収支予算書（案）について

第3号議案 令和6年度工業用水道事業施策に関する要望書（素案）及び実施（予定）

報告事項

(1) 令和4年度のこれまでの事業経過報告

(2) 各種委員会等報告について

その他

1 令和5年度検討事項について（案）

2 役員（専務理事）候補者の公募について（案）

3 令和5年度後任役員及び協会運営委員会構成（案）について

概 要

本人確認は入室時に確認し、出席者の紹介は省略した。

会長の正司山口県公営企業管理者の挨拶に引き続き、ご来賓としてご出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官のご挨拶をいただいた。

正司会長が議長となって、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、理事会成立が報告された。

議案について、議長から事務局に第1号及び第2号議案の説明を求め、事務局から説明を行い議案の承認を求めた。審議が議案ごとに行われ決議され、各議案は原案どおりに了承された。また、第3号議案については、経営委員会委員長県から委任を受けた山口県から説明が行われ、原案とおりの意見交換等を行うことが了承された。議長から報告事項の概要説明及びその他について、それぞれ事務局及び協会運営委員会委員長県の山口県に説明を求めた。その他1については、関係委員会において、令和5年度中に一定の方向性を出すため検討を行うことが了承された。また、その他2については、原案のとおり実施することが了承された。また、その他の報告事項等について、原案とおりの了承された。なお、例年実施の施策要望については、令和5年度定時総会前の理事会において改めて審議頂くことを確認した。

(4) 監事会（オンライン会議）

日 時 令和4年5月9日（月）

監 事 福島県企業局 草野次長
大分県企業局 衛藤総務課長
大成機工株式会社 鈴木特別顧問

概 要

本人確認を含めて、出席者の紹介を行った。

定款第24条（監事の職務及び権限）に基づき、監事会（オンライン）で監事による令和3年度事業報告、決算報告書の監査が行われ、会長宛に、それぞれ適正である旨の監査報告書が提出された。

(5) 協会運営委員会

(5) . 1 令和4年度第1回協会運営委員会

日 時 令和4年5月10日（火）

場 所 日本工業用水協会会議室（オンライン会議）

出席者 委員長 山口県宮本総務課長 ほかに11名
（令和4年5月10日現在 15名）

議 題 1) 第54回理事会提出議案について
2) その他

概 要

本人確認を含めて、出席者の紹介を行った。

山口県宮本総務課長の挨拶に引き続き、議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

理事会提出の議案書の各議案について、委員長から事務局に議案ごとの説明を求め、事務局から説明を行い議案ごとの承認を求め、理事会提出議案書案のとおりで、理事会議案書とすることが承認された。

(5) . 2 令和4年度第2回協会運営委員会

日 時 令和4年6月2日(木)
場 所 日本工業用水協会会議室(オンライン会議)
出席者 委員長 山口県宮本総務課長 ほか12名
(令和4年6月2日現在 15名)
議 題 1) 工水協会事務局体制に係る協会運営委員会での検討課題
2) その他

概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

山口県宮本総務課長の挨拶に引き続き、議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長から第1回の協会運営委員会にて「今後の事務局体制の強化」について改めて議論の場を設けての議論することに理事会の了解も得られた経緯の説明と、本委員会にて課題の共有と短期間で取りまとめた旨の本委員会開催の説明が行われた。

委員長県の山口県から、当該委員会における検討課題及び今後のスケジュール等の説明が行われ、審議の結果原案どおりで承認された。

(5) . 3 令和4年度第3回協会運営委員会

日 時 令和4年6月23日(木)
場 所 日本工業用水協会会議室(オンライン会議)
出席者 委員長 山口県宮本総務課長 ほか12名
(令和4年6月23日現在 15名)
来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 小林工業用水道計画官
議 題 1) 工水協会の体制検討について
2) その他

概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

山口県宮本総務課長の挨拶に引き続き、ご来賓としてご出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官を紹介し、議事に入った。

宮本委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長から第2回の当該委員会資料への意見も踏まえた資料としている等の説明が行われ、委員長県の山口県から、資料の説明が行われ、審議の結果引き続き検討を重ねていくことが確認された。また、事務局から「工業用水道事業における災害相互応援に関する基本的ルール(改訂案)」についての説明等も行い、情報提供依頼等を確認し、次回以降の当該委員会開催日程の確認を行った。最後に小林工業用水道計画官から総括的なご提言をいただいた。

(5) . 4 令和4年度第4回協会運営委員会

日 時 令和4年7月7日(木)
場 所 日本工業用水協会会議室(オンライン会議)
出席者 委員長 山口県宮本総務課長 ほか13名
(令和4年7月7日現在 15名)
来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 小林工業用水道計画官
議 題 1) 工水協会の体制検討について
2) その他

概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

山口県宮本総務課長の挨拶に引き続き、ご来賓としてご出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官を紹介し、議事に入った。

宮本委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長からこれまでの議論を整理し、今後の改善点、事務局体制の見直し等の説明が行われた。委員長県の山口県から、資料の説明が行われ、会費値上げ等を含めた検討を引き続き重ねていくこと、専務理事公募も含めて理事会提案とすること等が確認された。また、事務局から「工業用水道事業における災害相互応援に関する基本的ルール（改訂案）」についての説明等を行い、情報提供依頼、公表の在り方等を確認した。また、令和5年度定時総会以降の役員選任方法等について確認も行われた。

(5) . 5 令和4年度第5回協会運営委員会

日 時 令和4年7月28日（木）

場 所 日本工業用水協会会議室（オンライン会議）

出席者 委員長 山口県宮本総務課長 ほかに12名

（令和4年7月28日現在 15名）

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 小林工業用水道計画官

議 題 1) 工水協会の体制検討について

2) その他

概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

山口県宮本総務課長の挨拶に引き続き、ご来賓としてご出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官を紹介し、議事に入った。

宮本委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長からこれまでの経過報告が行われ、今後の事務局体制の見直し、収支の見直し、会費値上げ等の検討が必要である旨の説明が行われた。委員長県の山口県から、資料の説明が行われ、目指すべき方向性、経費縮減策として工業用水道事業研究大会、研究発表会の同時期開催、編集関連の経費縮減策等が検討され、事務局体制強化に伴う会費値上げ幅等を含め理事会提案とすること等が承認された。

(5) . 6 令和4年度第6回協会運営委員会

日 時 令和4年10月11日（火）

場 所 日本工業用水協会会議室（オンライン会議）

出席者 委員長 山口県宮本総務課長 ほかに10名

（令和4年10月11日現在 15名）

議 題 1) 工水協会の体制検討について

2) その他

概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

山口県宮本総務課長の挨拶に引き続き、議事に入った。

宮本委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長から今後の取組等、開催の趣旨の説明が行われた。委員長県の山口県から、専務理事公募の内容、応募者の選考方法・スケジュール、今後の事務局体制の強化に向けた見直し等の説明が行われ、審議の結果、原案のとおり理事会提案とすること等が承認された。

(5) . 7 令和4年度第7回協会運営委員会

日 時 令和5年1月16日(月)

場 所 日本工業用水協会会議室(オンライン会議)

出席者 委員長 山口県宮本総務課長 ほかに10名

(令和5年1月16日現在 15名)

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 小林工業用水道計画官

議 題 1) 第59回理事会議案書について

2) その他

概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

山口県宮本総務課長の挨拶に引き続き、ご来賓としてご出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官を紹介し、議事に入った。

宮本委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長から理事会議案書の説明を求め、事務局から各議案について説明を行い、令和5年度事業計画案及び令和5年度収支予算案のとおり理事会にはかることが承認された。引き続き要望書素案について、事務局並びに委員長県の山口県にそれぞれ説明を求め、素案のとおり理事会にはかり、経済産業省との意見交換に活用することが承認された。引き続き、その他について事務局並びに委員長県の山口県にそれぞれ説明を求め、令和5年度検討事項、役員(専務理事)候補者の公募、令和5年度役員及び協会運営委員会構成について、それぞれについて審議の結果、案のとおりで理事会提案とすること等が承認された。

(6) 役員(専務理事)候補者の公募

(6) . 1 役員(専務理事)候補者の公募(第1回)

第57回理事会決議を経て、令和4年11月1日から11月30日の間において、協会ホームページで公表、(株)日本水道新聞社及び(株)水道産業新聞社において、公募記事及び公募広告を掲載。

1名の応募があり、選考審査会において、第一次選考は合格となったが、第二次選考(面談)直前に本人から辞退の申し出があった。

(6) . 2 役員(専務理事)候補者の公募(第2回)

令和5年2月1日から2月28日の間において、協会ホームページで公表、(株)日本水道新聞社及び(株)水道産業新聞社において、公募記事及び公募広告を掲載。

4名の応募があり、選考審査会において、第一次選考は応募者全員が合格となり、3月15日に4名の第二次選考(面談)を実施し、1名が合格となった。

2. 工業用水道事業の推進

(1) 施策要望等

(1) . 1 令和5年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 令和4年6月7日(火)

参加者 会長正司山口県公営企業管理者、ほか5名

概 要

第54回理事会で承認された要望事項等について、正副会長、事務局代表等で構成する要望団により、経済産業省、総務省、国土交通省水管理・国土保全局環境省環境再生・資源循環局等へ要望等を行った。なお、経済産業省では、塩手地域基盤整備課長等との意見交換を行った。

(1) . 2 「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」に関する緊急要望

日 時 令和4年11月18日(金)

参加者 副会長千葉県企業局長(代理 石川工業用水管理課長)、愛知県企業庁長(代理 神谷水道事業課課長補佐)、経営委員会委員長(山本茨城県企業局業務課長)、事務局1名

概 要

第58回理事会で承認された令和4年度補正予算における総合経済対策(電力支援策)に関する緊急要望について、副会長、経営委員会委員長、事務局で構成する要望団により、経済産業省資源エネルギー庁へ要望を行った。なお、吉瀬電力産業・市場室長との意見交換を行った。

(1) . 3 経営委員会・協会運営委員会合同委員会(合同委員会)

(1) . 3 ①経営委員会・協会運営委員会合同委員会(第1回)

日 時 令和4年10月11日(火)

場 所 日本工業用水協会会議室(オンライン会議)

出席者 経営委員会

委員長 茨城県山本業務課長 ほか9名

(令和4年10月11日現在 14名)

協会運営委員会

委員長 山口県宮本総務課長 ほか10名

(令和4年10月11日現在 15名)

議 題 1) アンケート結果概要報告

(1) アンケート結果一覧について

2) 今後の進め方

3) その他

概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

山本経営委員会委員長、宮本協会運営委員会委員長の挨拶に引き続き、山本委員長が議長となり、議事に入った。

山本委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長からアンケート結果概要報告の説明を事務局に求め、補足説明を協会運営委員会委員長県の山口県に求めた。更に要望事項等回答があった出席委員に追加的な説明を求めた。審議の結果、事務局提案の一覧表から、要望事項素案作成とすることを確認し、今後の進め方等についても原案とおりに承認された。また、

追加意見等がある場合の回答方法等を確認した。

(1) . 3 ②経営委員会・協会運営委員会合同委員会（第2回）

日 時 令和4年11月11日（金）

場 所 日本工業用水協会会議室（オンライン会議）

出席者 経営委員会

委員長 茨城県山本業務課長 ほか9名
（令和4年11月11日現在 14名）

協会運営委員会

委員長 山口県宮本総務課長 ほか12名
（令和4年11月11日現在 15名）

議 題 1) 要望事項素案等について

1-1) 要望書作成方針（案）について

1-2) 要望事項等新旧対照表について

1-3) 要望事項等素案について

2) 要諦要望先との意見交換日程調整結果について

3) その他

概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

山本経営委員会委員長が議長となり、議事に入った。

山本委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長から要望事項素案等の説明を協会運営委員会委員長県の山口県及び事務局に求め、それぞれから説明が行われた。審議の結果、事務局提案の要望事項素案のとおり了承された。また予定要望先との意見交換日程への追加希望等がある場合、追加等の必要がある場合の確認等も行われた。

(1) . 3 ③経営委員会・協会運営委員会合同委員会（第3回）

日 時 令和5年2月2日（木）

場 所 日本工業用水協会会議室（オンライン会議）

出席者 経営委員会

委員長 茨城県山本業務課長 ほか11名
（令和5年2月2日現在 14名）

協会運営委員会

委員長 山口県宮本総務課長 ほか13名
（令和5年2月2日現在 15名）

議 題 1) 要望事項素案等について

2) その他

概 要

出席者の確認は、本人確認を含めて、入室時に確認するとともに会議出席予定者名簿を画面共有し出席者確認を行った。

山本経営委員会委員長が議長となり、議事に入った。

山本委員長の議事の開会宣言後、事務局から当委員会成立が報告された。

委員長から提出の要望書素案作成等の経緯の説明に引き続き、要望書素案の説明を協会運営委員会委員長県の山口県に求め、説明が行われた。審議の結果、提案の要望書素案のとおり意見交換を行うことが了承された。また、意見交換に係る連絡事項等の確認を行った。

(1) . 4 令和6年度工業用水道事業施策に関する要望に係る意見交換

(1) . 4 ①令和6年度工業用水道事業施策に関する要望事項素案の意見交換

日 時 令和4年11月24日(木)

場 所 経済産業省地域産業基盤整備課 会議室(別館8階)

総務省自治財政局公営企業経営室

参加者 経済産業省地域産業基盤整備課 4名

総務省自治財政局公営企業経営室 1名

経営委員会委員長(山本茨城県企業局業務課長)、ほか4名

概 要

第2回経営委員会・協会運営委員会合同委員会で承認された、令和6年度工業用水道事業施策に関する要望事項等素案をもとに、経済産業省、総務省との意見交換を実施した。国土交通省、環境省、資源エネルギー庁の要望関係先には要望事項等素案を送付し意見聴取を行った。

(1) . 4 ②令和6年度工業用水道事業施策に関する要望書素案の意見交換

日 時 令和5年2月20日(月)

場 所 日本工業用水協会会議室(オンライン)

参加者 経済産業省地域産業基盤整備課 3名

経営委員会委員長 茨城県山本業務課長 ほか7名

概 要

第59回理事会、第3回経営委員会・協会運営委員会合同委員会で承認された、令和6年度工業用水道事業施策に関する要望書素案をもとに、経済産業省との意見交換を実施した。

3. 事業

(1) 調査研究業務

(1) . 1 工業用水道事業研究大会（オンライン併用開催）

日 時 令和4年10月27日（木）

場 所 東京ガーデンパレス（2階 高千穂）

出席者 95名（オンライン参加 30名）

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 小林工業用水道計画官 ほか1名
総務省自治財政局公営企業経営室 橋本室長 ほか1名

概 要

事務局の開会挨拶に引き続き、大瀧技術委員会委員長（お茶の水女子大学基幹研究院教授）の挨拶をいただき、ご来賓としてご出席をいただいた総務省橋本公営企業経営室長並びにオンラインでご参加いただいた経済産業省小林工業用水道計画官からそれぞれご挨拶をいただいた。事務局より大会の運営方法を報告し了承を得た。

午前中は、指定課題1.1の「高効率設備導入について」、指定課題1.2の「先進デジタル技術の活用について」、指定課題1.3の「工事費高騰への対応について及び自由課題2.5の「工業用水道料金の未収金対応について」が事務局進行で進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで埼玉県、愛知県、みおつくし工業用水コンセッション（株）、沖縄県からそれぞれ事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

午後の最初に「工業用水道事業におけるBCP策定の必要性」について、小林工業用水道計画官からオンラインによる講演が行われた。

その後、前半は、指定課題1.5「事業継続計画（BCP）の策定、改定への対応について」、事務局から結果報告を行い引き続き、釧路白糠工業用水道企業団（オンライン）、愛知県、大阪広域水道企業団からそれぞれ事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。後半は、指定課題1.4「技術継承問題・技術力低下への対応について」、自由課題2.3「ダクタイル鋳鉄管の耐久性について」、三重県、山口県、静岡県、神戸市からそれぞれ事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

最後に、関連産業会員技術情報発表として、日本ヴィクトリック（株）から「既設伸縮可とう管の耐震工法と見える化」、（株）クボタから「ダクタイル鉄管の新たな老朽度評価方法の開発（2）」、大成機工（株）から「伸縮機能付き既設管用耐震補強金具」の発表が行われた。

事務局から来年度工業用水道事業研究大会と研究発表会の同時期開催等アンケート回答依頼をし、盛会裏に終了した。

(1) . 2 第58回研究発表会（オンライン併用開催）

日 時 令和5年2月27日（月）

場 所 東京ガーデンパレス（2階 高千穂）

出席者 70名（オンライン参加 36名）（うち発表者等 8名）

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 小林工業用水道計画官

概 要

小泉編集委員会委員長（東京都立大学都市環境学部特任教授）及びご来賓としてご出席をいただいた経済産業省小林工業用水道計画官からそれぞれご挨拶をいただいた。その後、会長代理小泉委員長から、論文賞2編の著者にそれぞれ賞状等が贈られた。続いて日刊工業新聞社賞が日刊工業新聞社小松参与から賞状等

が贈られた。

続いて研究発表に入り、上記受賞記念講演のほか7件の研究発表があり活発な質疑応答が行われた。

(1) . 3 経営委員会・技術委員会（合同委員会）

日 時 令和4年5月10日（火）

場 所 日本工業用水協会会議室（オンライン会議）

出席者 技術委員会

委員長 お茶の水女子大学大瀧基幹研究院教授 ほか13名

（令和4年5月10日現在 18名）

経営委員会

委員長 茨城県山本業務課長 ほか9名

（令和4年5月10日現在 14名）

来 賓 総務省自治財政局公営企業経営室 宮崎課長補佐

議 題 1) 令和4年度工業用水道事業研究大会について

(1) 検討課題の選定について

(2) スケジュール・開催（案）

2) 令和5年度工業用水道事業施策要望について

(1) 施策要望書（案）について

(2) 要望の手順（案）について

3) その他

概 要

工業用水道事業研究大会に係る議題は、大瀧技術委員会委員長によって執り行われ、研究大会検討課題について、原案通り決定した。

指定課題（課題のみ表示）

1. 高効率設備導入について

2. 先進デジタル技術の活用について

3. 工事費高騰への対応について

4. 技術継承問題・技術力低下への対応について

5. 事業継続計画（BCP）の策定、改定への対応について

自由課題

1. 下水処理水の利用について

2. 水管橋・水路橋の更新及び耐震補強について

3. ダクティル鉄管の耐久性について

4. 天日乾燥床脱水汚泥の有効活用への取組について

5. 工業用水道料金の未収金対応について

令和5年度事業施策要望の実施に係る議題は、山本経営委員会委員長によって執り行われ、施策要望の実施案をとりまとめ、理事会に諮ることとした。

(1) . 4 編集委員会（後述の編集委員会第5回参照）

日 時 令和4年12月15日（木）

場 所 日本工業用水協会 会議室（オンライン会議）

出席者 小泉委員長 ほか委員14名

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、5月号までの編集を行った。

論文賞の選考と日刊工業新聞社賞の選定を行った。

(1) . 5 関連産業委員会（休会について）

関連産業委員会につきましては、協会事業の一環として毎年度、全国の工業用水事業体にご協力をいただきながら、工業用水道施設の先進事例やご当地の受水企業を視察し関連産業会員各位の研鑽の場としている。

しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、感染の拡大を防止する観点から、委員各位の健康と安心、安全を確保することを最優先に配慮し、令和4年度予定しておりました関連産業委員会は休会することにした。

(1) . 6 その他

(1) . 6 ①情報の提供関連

令和4年7月に、昨年3月末時点の工業用水道事業者における資機材の備蓄情報を収集整理し、事業者会員はじめ全国の工業用水道事業者、経済産業省及び(独法)水資源機構に情報提供を行った。また、昭和52年から令和3年度末までの工業用水道料金の推移を収集整理し、事業者会員を中心に情報提供を行った。

令和4年10月5日に工業用水道事業継続計画及び工業用水道事業者における資機材の備蓄情報を一括で扱う工業用水道事業者関係専用ページを開設。

10月17日に工業用水道事業における災害相互応援に関する基本的ルール(改訂版)を掲載。

令和5年3月9日に会員専用ページを開設。令和5年度事業計画、収支予算書を掲載。

(1) . 6 ②水道分野における官民連携推進協議会

(厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催)

概要

厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を、厚労・経産両省主催、日水協・工水協共催で開催した。

開催状況

第1回協議会

令和4年10月12日(水)

山形市民会館(2階 小ホール)(山形県山形市)

第2回協議会

令和4年11月18日(金)

九州ビル(9F AB 会議室)(福岡県福岡市)

第3回協議会

令和4年12月14日(水)

公益社団法人茨城県開発公社(大会議室)(茨城県水戸市)

第4回協議会

令和5年2月8日(水)

公益社団法人三重県労働福祉協会(講堂)(三重県津市)

(2) 出版に関する事業

(2) . 1 編集委員会

(2) . 1 ①編集委員会（第1回）

日 時 令和4年4月25日（月）

場 所 日本工業用水協会 会議室（オンライン会議併用）

出席者 小泉委員長 ほか委員15名

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

1) 5月号の確認、7月号・9月号の編集について

2) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、9月号までの編集を行った。

(2) . 1 ②編集委員会（第2回）

日 時 令和4年6月17日（金）

場 所 日本工業用水協会 会議室（オンライン会議併用）

出席者 小泉委員長 ほか委員13名

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

1) 7月号の確認、9月号・11月号の編集等について

2) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、11月号までの編集を行った。

(2) . 1 ③編集委員会（第3回）

日 時 令和4年8月22日（月）

場 所 日本工業用水協会 会議室（オンライン会議併用）

出席者 小泉委員長 ほか委員14名

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

1) 9月号の確認、11月号・1月号の編集について

2) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、1月号までの編集を行った。また、第55回理事会における編集委員会関連資料について、状況説明等を行い、編集委員会のご意見等協会運営委員会等に報告することを確認するとともに、今後さらなる検討も必要であることを確認した。

(2) . 1 ④編集委員会（第4回）

日 時 令和4年10月24日（月）

場 所 日本工業用水協会 会議室（オンライン会議併用）

出席者 小泉委員長 ほか委員13名

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

- 1) 11月号の確認、1月号・3月号の編集について
- 2) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、3月号までの編集を行った。

(2) . 1 ⑤編集委員会 (第5回)

日 時 令和4年12月15日 (木)

場 所 日本工業用水協会 会議室 (オンライン会議併用)

出席者 小泉委員長 ほか委員14名

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

- 1) 1月号の確認、3月号・5月号の編集について
- 2) 第58回研究発表会について
論文賞の選考
日刊工業新聞社賞の選定
- 3) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、5月号までの編集を行った。

論文賞と日刊工業新聞社賞の選定を行った。

第58回研究発表会は、オンライン併用形式で、1日間で実施すること報告した。

選定された論文賞

著者 東田 盛善様 (沖縄県立八重山高等学校教諭)

「沖縄県小浜島の地下水の水質とその保全」

「沖縄県石垣島宮良川およびアヤマシ川流域の陸水の水質」

著者 神谷 信弘様 (愛知県企業庁水道部水道事業課課長補佐)

「愛知県営工業用水道事業におけるBCP等による危機対応の現状と今後の課題について」

選定された日刊工業新聞社賞

著者 伊藤 雄斗様 (水 i n g エンジニアリング株式会社 要素技術統括部
機器設計・開発一部)

「Sweepa!®新型汚泥掻き寄せ機の開発」

(2) . 1 ⑥編集委員会 (第6回)

日 時 令和5年2月14日 (火)

場 所 日本工業用水協会 会議室 (オンライン会議併用)

出席者 小泉委員長 ほか委員14名

オブザーバー

経済産業省地域産業基盤整備課小林工業用水道計画官 ほか1名

次 第 議 題

- 1) 3月号の確認、5月号・7月号の編集について
- 2) 第58回研究発表会について
- 3) その他

概 要

各議題について委員長の進行に基づき事務局が説明を行い審議が行われ、7月号までの編集を行った。2月27日開催の研究発表会の確認等を行った。

(2) . 2 出版図書

- ① 会誌「工業用水」令和4年5月号～令和5年3月号 (No. 672～677)
- ② 会員名簿 (2022年度電子データ)

(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

(3) . 1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設備、検査法、品質管理等について審査を行った結果、次の11事業場を認定工場として承認した。

認定更新日	認定番号	認定事業場名	認定の対象となる製品の名称
4・5・7	第57号	大成機工(株) 三田工場	水道用鋳鉄異形管
4・5・31	第49号	(株)清水合金製作所	水道用弁類全般
4・8・12	第42号	(株)清水鐵工所	弁類
4・9・20	第58号	日本ヴィクトリック(株) 神戸工場	伸縮可撓継手
4・10・14	第2号	(株)クボタ 京葉工場	ダクタイル鋳鉄直管
4・10・14	第3号	(株)クボタ 阪神工場	ダクタイル鋳鉄直管 ダクタイル鋳鉄異形管 ソフトシール仕切弁
4・10・14	第4号	(株)栗本鐵工所 加賀屋工場	ダクタイル鋳鉄管 ダクタイル鋳鉄異形管
4・10・14	第15号	(株)栗本鐵工所 堺工場	ダクタイル鋳鉄管
4・10・14	第29号	JFEエンジニアリング(株) JFE大径鋼管(株)	水輸送用塗覆装鋼管
4・10・15	第5号	日本鋳鉄管(株) 久喜工場／高崎工場	ダクタイル鋳鉄管 ダクタイル鋳鉄異形管
5・1・29	第26号	東亜外業(株) 東播工場	水輸送用塗覆装鋼管

(3) . 2 工業用水道管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル鋳鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を(公社)日本水道協会との協定により委託した。

(4) 工業用水道保険事業

平成27年度に創設した、工業用水道賠償責任保険及び工業用水道機械設備損害保険について、延べ32件の加入状況となっている。

工業用水道賠償責任保険 26事業体

工業用水道機械設備損害保険 6事業体